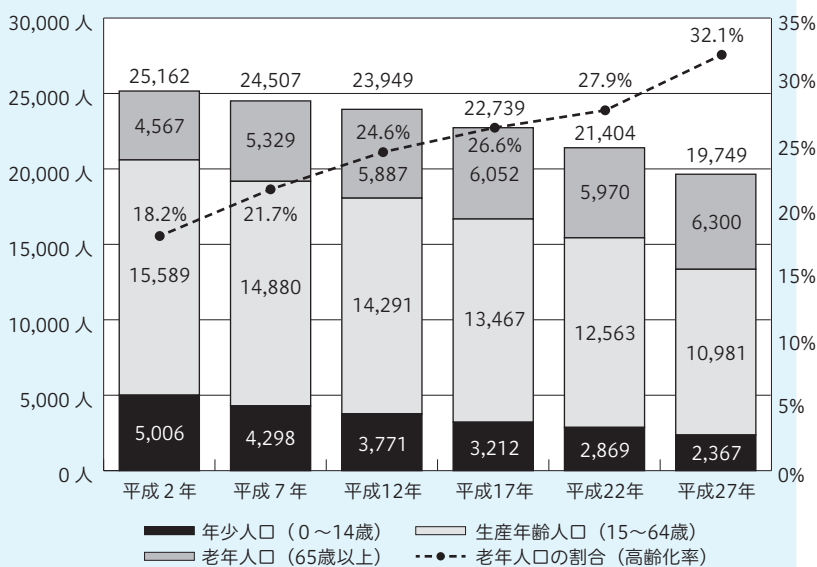


～ 高齢者を取り巻く現状を知る～

日本では、平成37年（2025年）までに団塊の世代が後期高齢者となる時期を迎え、高齢化率は30%を超え、5人に1人が後期高齢者という状況が見込まれています。高齢化の進行は介護保険料の高騰や家族介護者の負担が重くなることも懸念されており、介護を取り巻く現状は待ったなしの対策強化がもとめられています。そこで、多久市の介護を取り巻く現状を紹介します。これからの健やかなシニアライフについて考えてみませんか。今回は多久市の人口の状況をみてみます。

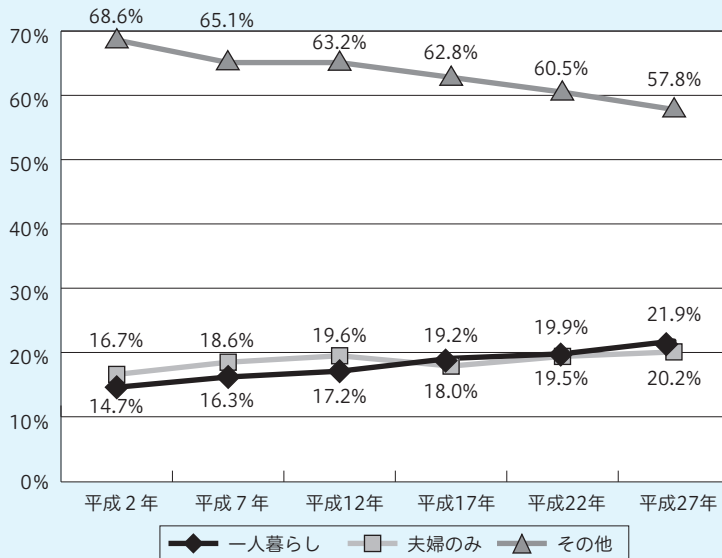
【多久市の年齢3区分別の人口構成の推移】



現在多久市でも全国の傾向に違わず人口の全体的な減少が年々進んでいます。年齢区分別にみると、年少人口や生産年齢人口が減少を続けており、高齢者人口は増加しています。この状況から介護を要する人の増加と若い介護の支え手の不足が予想されます。また、家族構成から見ても、高齢者の一人暮らし

しや高齢者夫婦のみの世帯は年々増加傾向ですが、多世代での同居などは減少傾向で、家庭内での介護力の不足も見込まれています。この現状を知り、まずは家族の介護力を養うだけでなく、自分自身が介護を要さない元気な身体づくりを意識し、身につけることが大切になってきます。多久市での介護

【高齢者のいる世帯構成の推移】



予防につながる事業や取り組みを23ページに紹介していますので、興味がある人は参加してみませんか？

